

# 令和3年度事業報告書

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。5月初旬からの感染拡大第4波、8月末からの第5波により、プール及び文化教室は休業となりました。他の部門においても自粛営業となり、レストランは年間を通して時間短縮営業となりました。一方、感染症拡大の波を受け、札幌市の感染症対策に全面協力し、7月には2階全室及び3階2部屋を保健所の対策室に提供したことなどから、会議部門では大幅な増収となりました。こうした状況から、当初予算と大きく乖離が生じた為、10月に補正予算を組み、必達目標である債務超過解消に努めました。

利用状況は、年間利用者20.5万人の目標に対して、21.5万人と1.0万人の増、対前年で4.0万人の増となりました。事業収益は、4億9,423万円の目標に対して2,990万円増の5億2,413万円、対前年で1億9,517万円の増となりました。

国や北海道、札幌市の新型コロナウイルス感染症関連の各種支援金の受給や雇用調整助成金を最大限活用するなど、収入を確保するとともに、退職者不補充など、人件費も含めた費用の削減に取り組んだ結果、損益で7,743万円（対前年1億3,757万円の増）の黒字となりました。これにより、累積損益である正味財産期末残高が6,661万円の黒字計上（債務超過解消）となりました。

各部門の利用状況等は以下のとおりです。

## I 勤労者福祉事業等

### 1 雇用促進、就業支援事業

札幌市が主催する「合同企業説明会」「お仕事リーガルガイド展示」などに協力しました。なお、令和3年度も、市内高等学校等のインターンシップ事業の受入は、実施出来ませんでした。

### 2 地域関連事業

地域社会への貢献を目的として、『スローライフ・イン・にーよん』事業をはじめとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に可能な限り参加・協力しました。令和3年度も、主な事業は中止もしくは縮小となりましたが、新たに縄文遺跡群の世界遺産登録に係る事業が行われました。

主な事業の状況は、以下のとおりです。（ ）内は予定等

- (1) 暴力追放街頭啓発活動（毎月1回実施）中止
- (2) フラワーロード事業（5月下旬～9月末）実施
- (3) ノースロード24フェスタ（7月末：屋外（正面）、広場他）中止
- (4) 縄文ロマンの里・にーよんフェス（8月21日：広場）実施
- (5) 24「ワンコイン商店街」（10月9日：広場）実施
- (6) 24ロードウインターフェア（年末、12月28・29日抽選会：広場）実施
- (7) ニーヨンエリアミュージックフェスティバル（1月30日：音楽ホール）実施

(8) に～よんアイスキャンドルナイト（2月7日～9日：小公園）実施

## II 札幌サンプラザ運営事業

### 1 プール

感染症対策に係る休業要請により、5月3日から7月11日まで、8月28日から9月30日までの第4波及び第5波を受けての休業となりましたが、水泳教室の会員数はあまり影響を受けず、年度末には、ほぼ前年同数の703人となりました。

利用状況は、対前年、水泳教室で600人減の28,834人、一般開放で1,518人減の7,158人となり、合わせて2,118人減の28,834人となりました。

( ) 内は令和2年度実績、1日平均は休業日数を除外して算出

(1) 水泳教室	利用人数	28,834人	(29,434人)
	1日平均	113人/日	(117人/日)
(2) 一般開放	利用人数	7,158人	(8,676人)
	1日平均	28人/日	(34人/日)

### 2 音楽ホール

前年に引き続き人数制限等、感染予防策を徹底した中での利用となりました。感染症対策が緩和され、全面的な休業とはならなかったことから、前年に比べ若干の利用増となりましたが、開催された催事は、前年同様、自主公演は中止としました。

利用状況は、対前年、件数で15件増の125件、人数で7,641人増の23,854人の利用となりました。

( ) 内は令和2年度実績

(1) 利用件数	125件	(110件)
(2) 利用区分数	303区分	(236区分)
1件あたり	2.4区分/件	(2.1区分/件)
(3) 利用人数	23,854人	(16,213人)
1件あたり	191人/件	(147人/件)
(4) 稼働率	39.3%	(33.0%)

※ 利用区分は、1日を午前、午後、夜間の3区分としたもの

### 3 文化教室

プールと同様に、5月3日から7月11日まで、8月28日から9月30日までの期間の休業となりました。秋に1Fふれあい広場で開催している作品展と冬に音楽ホールで開催している発表会は中止としました。

利用人数は、休業・自粛の影響から、対前年、2,243人減の14,850人となりましたが、講座数としては、6講座増の118講座となりました。

( ) 内は令和2年度実績

(1) 講座数	118講座	(112講座)
(2) 利用人数	14,850人	(17,093人)

#### 4 会議・研修

前年度12月から、札幌市保健所の感染症対策室に提供していた2階の一部利用が、7月からは2階全5室の利用の他、3階2室の追加利用となりました。年明け2月からは、それまでの疫学調査利用からコロナワクチンの集団接種会場としての利用となり、1F広場も利用するなど、さらに拡大した利用となりました。コロナ禍における札幌市のリモートワーク推進事業などの就業支援事業の利用もあり、顧客に提供できるスペースに限りがある中、音楽ホールを2階会場に代えて利用するなど、顧客利用の確保に努めました。

保健所の利用も含め、件数で5,463件（対前年3,518件増）、利用人数では92,139人（対前年50,609人増）となりました。

（令和2年度実績：1,945件、41,530人）

#### 5 宿泊

スポーツや文科系など各種大会等において、再開の動きも見られましたが、年間を通して、ビジネス利用、観光利用も回復しませんでした。

利用人数は、コロナ禍前の平成30年度（21,209人）と比較して11,614人の減（45.2%）、対前年で235人減の9,595人となりました。

客室稼働率は、対平成30年度（68.7%）で30.2ポイントの減、対前年で2.4ポイント減の38.5%となりました。なお、引き続き、感染症対策に係る札幌市職員の他、医療・福祉関係者等の宿泊を、積極的に受け入れました。

（令和2年度実績：9,595人、客室稼働率：40.9%）

#### 6 レストラン

まん延防止等重点措置、並びに緊急事態宣言を受け、時間短縮営業や宿泊者対応の朝食のみの営業が延べ9ヶ月間ありました。その間、テイクアウトメニューの強化やデリバリーサービスの活用など収入確保に努めましたが、前年をさらに下回る結果となりました。

利用人数は、コロナ禍前の平成30年度（94,954人）と比較して57,838人の減（39.1%）、対前年12,585人減の37,116人となりました。

（令和2年度実績：49,701人）

#### 7 宴会

##### （1）一般宴会

感染症の影響を最も受けた部門となっています。コロナ禍において積極的な営業も出来ず、2階全室を札幌市保健所に提供したこともあり、前年よりも、さらに厳しい結果となりました。

利用件数はコロナ禍前（1,124件）の6.9%、対前年12件減の78件、利用人数はコロナ禍前（52,995人）の1.5%、対前年755人減の775人となりました。

（令和2年度実績：90件、1,530人）

(2) 法要

コロナ禍、会場の都合もあり元々少ない受注の中、感染拡大の波によるキャンセルも多く、ご利用内容も会食を避けた折詰プランが中心となりました。

利用件数はコロナ禍前（174件）の31.0%、対前年9件減の54件、利用人数はコロナ禍前（2,665人）の20.3%、対前年70人減の540人となりました。

（令和2年度実績：63件、610人）

### Ⅲ 理事会及び評議員会の開催

**1 第1回 理事会（令和3.6.15 書面決議）**

- (1) 令和2年度 事業報告
- (2) 令和2年度 決算報告及び監査報告
- (3) 臨時評議員会の開催について
- (4) 定時評議員会の開催について

**2 第1回 臨時評議員会（令和3.6.21 書面決議）**

- (1) 評議員及び理事の選任について

**3 定時評議員会（令和3.6.30 書面決議）**

- (1) 令和2年度 事業報告
- (2) 令和2年度 決算報告
- (3) 評議員の選任

**4 第2回 理事会（令和3.10.15 書面決議）**

- (1) 令和3年度 補正事業計画
- (2) 令和3年度 補正収支予算

**5 第3回 理事会（令和4.3.30 書面決議）**

- (1) 令和4年度 事業計画
- (2) 令和4年度 収支予算